

# 2024 コンテスト夏の陣

## ご報告

「一人じゃないってえ～スツテキなことねえ～♪」っていう天地真理の歌がアタマの中にこだまし続けてた夏のおもひでの長いながあ～いお話しです。

例によって、全力で読み飛ばしちゃってください f\_^;

JM1LZT 富山俊一

近ごろの涼しさ(と、言うより寒さ)のせいで忘れがちですが、今年の夏は昨年に輪をかけて暑すぎる夏でした。記録にも記憶にも残って行くことでしょう。

そんな中、例によって私は7,8月はせつせと日光の山奥に通い、無線三昧だったという変わり映えのしないお話しです f\_^;

2020年にJA1ZCXの「猫の手オペ」を初めてやった時、まさかこんなに毎年やることになるなどと思っていませんでした。それが気づけば今年で5回目。もう、今さら後には引けないところまで来ちゃいました。

ご存知かもしれませんが、私は基本的に50MHzのCWでしかコンテストに参戦していません。と、言うことは、VUHFのお祭りである6m and down コンテストはそんな私にとっては、メインコンテストとでも言うべき位置付けのはず。「6m 屋さん」として、本音を言えば、「個人的実績」を上げたいコンテストの筆頭です。

始まりは古くからのお友だち、JO1CRA との繋がりから、人手不足の JA1ZCX への単なる助っ人としての参戦でしたが、今や義理とかではなく、純粋にマルチオペのチーム戦が楽しくなっちゃったりするんです。

ただ、それでも多少は意地もあって、50MHz は「丸投げ」にしてもらい、気分としては「もしも個人で 50MHz 電信・電話に参戦してたらどれぐらいいいけたんだろう」を毎回結果が出る度に答え合わせをしたりしなかったりの日々「でした」。

ところが今年。いよいよ人手不足が深刻になり、「笑っていいとも」のテレフォンショッキングよろしく、私の紹介で、みなさんご存知の JH1LTR 古池さんが参戦することに。もう一人私の学生時代の友人も誘ったので、もはやどこの外人部隊だよ状態に^^;

トレーラーハウス、来ましたよ、日光まで。ハイエースに牽引されて走るリビング&シャックは坂道とワインディングが大の苦手なのにもかかわらず。LTR 恐るべし。

ZCX のメンバーが、見慣れないものの登場にざわついたのは言うまでもありません。なんてたって見慣れてるはずの私でさえ、いまだに一人でざわついてたりしますから f\_^^;



走るリビング&シャック@日光

古池さんの参戦は、トレーラーやアンテナ、発電機といった物理的な貢献もさることながら、当然のこととはいえ、オペレーション面での貢献度絶大。

内情をバラしちゃいますが、コンテスト界の「名門」JA1ZCX ではありませんが、実は CW オペレーターが慢性大幅不足。毎年 7 バンドに対して CW オペはいいとこ 3,4 人。50MHz は私が全部やっていますが、他のバンドは CW オペが回遊魚のように、バンドからバンドを渡り歩いているんですね、これがσ^\_^;

古池さんはもちろん CW も OK なので、これは大きかった。なんてたって、自分史上初、夜中の 2 時過ぎから 6 時ぐらまで、50MHz を古池さんをお願いし、私は快適なトレーラーのベッドでガッツリ爆睡♪もう、なんだったら残り全部お願いしちゃおうかぐらいの勢いでした f^\_^;

ZCX にとって、これはめちゃくちゃ大きなことで、私一人が 50MHz をやっている場合、必ず 1,2 時間は停波することになるのに、今回は 18 時間電波出っ放し。まあ、マルチオペの「本来のあるべき姿」になったということです。

日曜の朝 7 時ごろにやっと目覚めた私が 50MHz のシャックに行ってみると、古池さんが絶賛オペレート中。いやあ～ホントに来てもらって良かった。マルチオペでの参戦は、やはりチーム力なんだと、今さらながら痛感しました。

標高 1600m とは言え、既に陽は高く上り、暑さ全開。そんな中コンテストも後半にさしかかり呼ばれなくなってきて苛立つはずの状況の中、淡々としかし確実にオペレートを続ける古池さんの姿の神々しかったことといたら(^.^)

朝の挨拶をし、引き継ぎを済ませて私も戦闘再開です。この後は最後まで突っ走るしかありません。

私の寝ている間、確実にスコアを伸ばしてくれた古池さんから受け取ったバトンを握りしめ、全力疾走開始です。

まあ、実際にはほぼ PC の F キーを押してるだけなわけですが f^\_^;

毎年ご報告していますが、この数年、50MHz では明らかに SSB の参加者が減っています(そして多分他の多くのバンドでも)

CW で呼ばれなくなると SSB に移るわけですが、聞いてみても交信済みの局ばかり。かと言って、CQ 出してもコールはパラパラ…

今年の技術講習会でもお話ししましたが、ctestwin に限らず、ロギングソフトの発達と PC とリグの有機的連携は、明らかに CW 運用を容易にし、気づいてしまった多くの方々が SSB から CW に民族大移動してるとしか思えません。

また、コンテスト時には、SSB では無理な信号強度でも、CW ならば交信成立というケースが圧倒的に多い。QRP 運用の普及なんかも後押しとなり、CW 人口が増え続けているのではないのでしょうか。

今回 E スポは 8 エリアに対し、日光ではほとんど開くことなく、西の方は多少スカッター性の伝搬も含め開いた程度。それでも私が参戦するようになってからは 2 番目ぐらいのマルチは稼げたのが今回の収穫でしょうか。もちろん、これには「ワンオペ」を止め、「複数オペ」にしたことが大きく作用していると思います。

11 月の現時点で結果はまだ発表されてませんが、ログ締め切り時点で発表された raw スコア(審査前スコア)によると今回は入賞どころか全国 4 位の可能性大^\_^;

IC-905 の投入などでハード面も強化し、50MHz の複数オペ化もしたのに成績は昨年を下回ってしまったとしたら、いったい何が足りなかったのか、来年への宿題を解き続ける「冬休み」になりそうです。

8月。フィールドデーです。参戦取りやめしちゃおうかなって本気で考えちゃうぐらいの連日の暑さの中、それでも気がつきや日光へ f^\_^;

標高 1600m でも日中設営作業をしていると汗ばんでいましたから、平地のみなさんは…と勝手に心配しまくってたりしました。

お約束の相方 JO1CRA, JM1WBP と設営を手伝いっこしながら、「いつものアレ」が完成。

バンド間の干渉実験も無事済ませいざ本番へ。



いつものアレ 2024@日光 with JO1CRA&JM1WBP

ここで一つ告白しておく、毎回コンテスト開始時に「とんでもなパイルになっちゃって、一つもまともに取れなかったらどうしよう」と結構マジで心配したりしなかったりしています、ホントに^^;

まあ、実際にはなんとかなっていますが(なってることにしちゃってますが)、私の「永遠の初心者」っぷり、結構ハンパじゃありません。技量の問題は勿論、やはり精神的な問題、いわば「実績に基づいた自信」みたいなものがまだまだ足りてないんじゃないかと思います。

本格的にコンテストに復帰したのが2019年の6m and downからですから、かれこれ5年経ちました。その間優勝や入賞はそれなりにしてきましたが、やはり「日常的な無線活動」が圧倒的に不足している。現状JM1LZTが電波出してるのは月曜の夜21時ごろ(最近はできてませんが)と、年7回のコンテストで99%です。たったこれだけでコンテストに勝とうなんて、図々しいことこの上ない。日頃コツコツと無線活動に励まれてるみなさんに失礼だと思います。

で、2025年への抱負。

サイクル25のピークを機に、今度こそコンテストだけでなく、DXも含め「ふつ～の無線活動」への原点回帰。まあ、DXについては今やFT8が主流なんで、CWやSSBの「修行」にはならないと思いますが、それでもやらないよりはマシ。ちょっとでも経験値を上げ、それを糧にコンテストに臨み結果を出す。当たり前すぎることですが、近年の私に大きく不足していた要素です。

果たしてどれだけの効果があるのかわからないのか。来年のリザルトが、数字という形で如実に表してくれることでしょう。

さて、本題のフィールドデーです。体感としては参加者少なめ、コンディションいまいちでした。去年の自分のスコアにびみよ～に届かず悶々として終了。

JARL 発表の raw スコアによると、残念ながら 2 連覇ならず、おそらく 2 位という結果になりそうです。

やはり経験値を上げなきゃ、そう簡単には勝たせてはもらえません。

だから無線はおもしろい。

だから無線はやめられない。

「冬眠期間」中の「次の一手」を考える日々が始まります。



フィールドデー2024 のトンボちゃん♪@日光